

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第22週 (5/25-5/31) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		22週	21週	20週	19週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数	小児科	18	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	5/25-5/31	5/18-5/24	5/11-5/17	5/4-5/10	5/18-5/24
			22週	21週	20週	19週	21週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	0	0	0	0
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	4	10	2	57
	感染性胃腸炎		18	20	20	17	112
	水痘		1	2	1	0	11
	手足口病		0	2	2	1	4
	伝染性紅斑		0	0	0	0	4
	突発性発しん		16	8	13	2	30
	ヘルパンギーナ		0	0	0	1	0
	流行性耳下腺炎		0	0	0	0	1
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	1	0
			0.00	0.00	0.00	0.04	0.00
眼科	急性出血性結膜炎		1	0	0	0	0
			0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
	流行性角結膜炎		0	1	0	1	7
			0.00	0.20	0.00	0.20	0.21
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(3件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	IGRA検査	レジオネラ症	男性	60歳代	病原体抗原の検出
-	-	-	-		女性	80歳代	

・第22週は、結核1件(60)、レジオネラ症2件(6)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第22週のコメント

過去10年の同時期と比べて全て平均未満となっている。

<トピック>

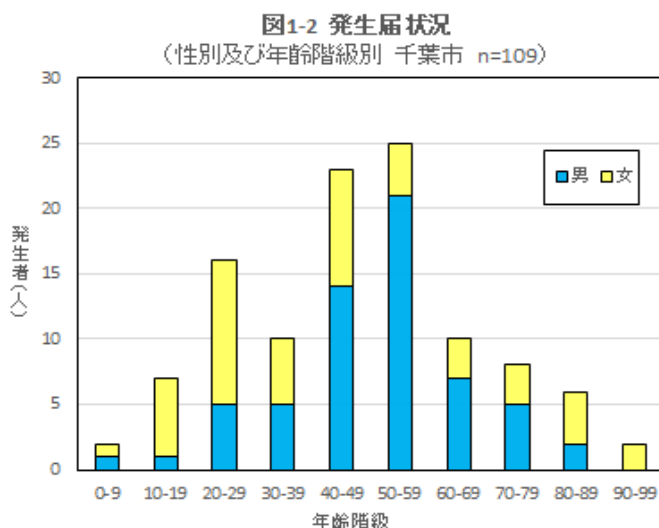
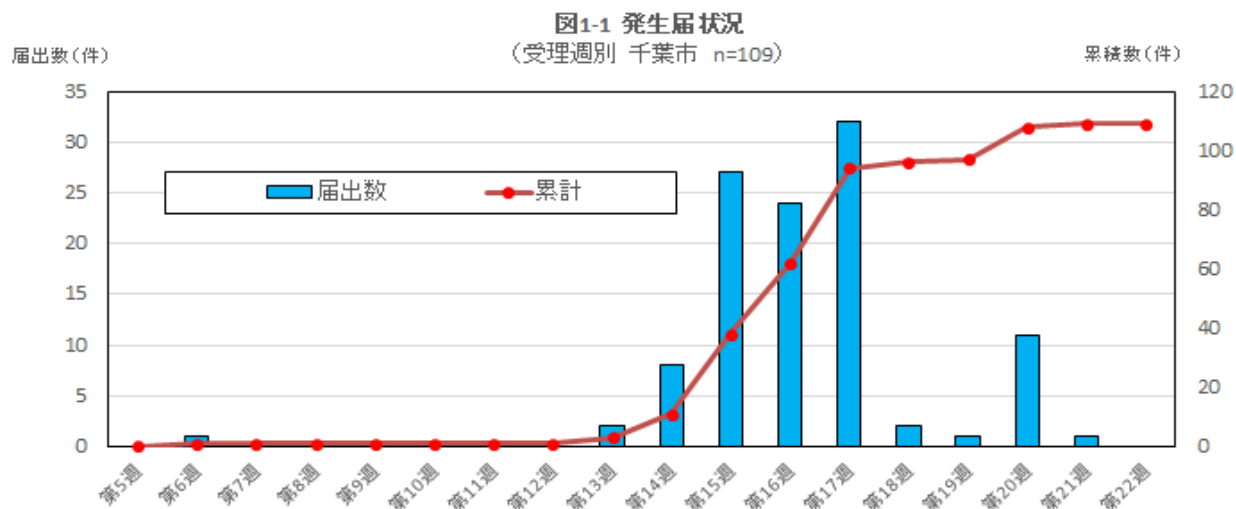
<新型コロナウイルス感染症>

・発生届

第22週は発生届はありませんでした。合計は109件のままとなっています(図1-1)。

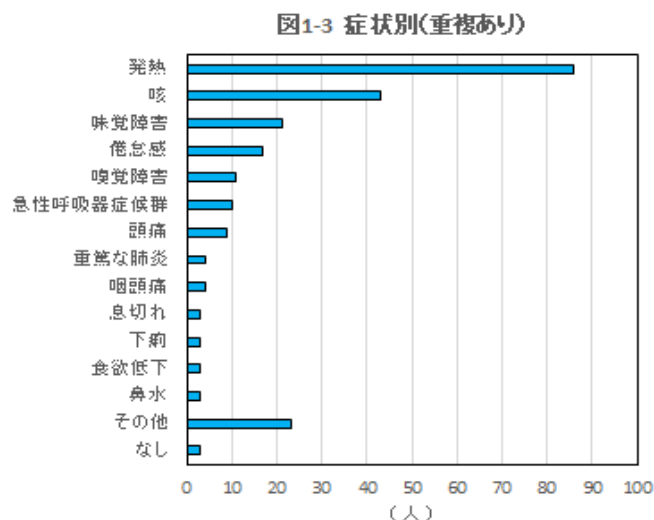
性別では男性が61名(56.0%)、女性が48名(44.0%)で、年齢層は0歳から90歳代まで、年齢中央値は全体で50.2歳で、男性で51.1歳、女性で49.1歳となっています。年齢階級別では50歳代(25名:22.9%)、40歳代(23名:21.1%)、20歳代(16名:14.7%)の順に多くなっています。年齢階級の男女比は、男性は40歳代～70歳代で占める割合が高いことに対して、女性は10歳代、20歳代及び80歳代以上で占める割合が高くなっています(図1-2及び表1)。

症状は、発熱(86名:78.9%)、咳(43名:39.4%)、味覚障害(21名:19.3%)の順で多くなっています(図1-3)。



中央値	51.1	49.1	50.2	
年齢層	男	女	計	
0-9	1	1	2	1.8%
10-19	1	6	7	6.4%
20-29	5	11	16	14.7%
30-39	5	5	10	9.2%
40-49	14	9	23	21.1%
50-59	21	4	25	22.9%
60-69	7	3	10	9.2%
70-79	5	3	8	7.3%
80-89	2	4	6	5.5%
90-99	0	2	2	1.8%
100-	0	0	0	0.0%
計	61	48	109	100.0%
	56.0%	44.0%	100.0%	

表1 性別及び年齢階級別



・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第22週（2020年5月31日時点）までに3564例（検体数3753）について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は3306例（うち陰性化確認等242例）となっており、この他クルーズ船関連事例191例（うち陰性化確認126例）、その他陰性化確認等67例の検査を実施しました。

陰性化確認等242例を除いた市中感染・輸入例疑い事例3064例（検体数3202）については、陽性は109例（陽性率：3.6%）でした（図2-1）。陽性率について、年齢階級別では10歳代（6.5%）、50歳代（5.9%）、40歳代（4.7%）の順で多くなっています（図2-2及び表2）。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

（週別 千葉市：5月31日現在 n=3064）

（クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く）

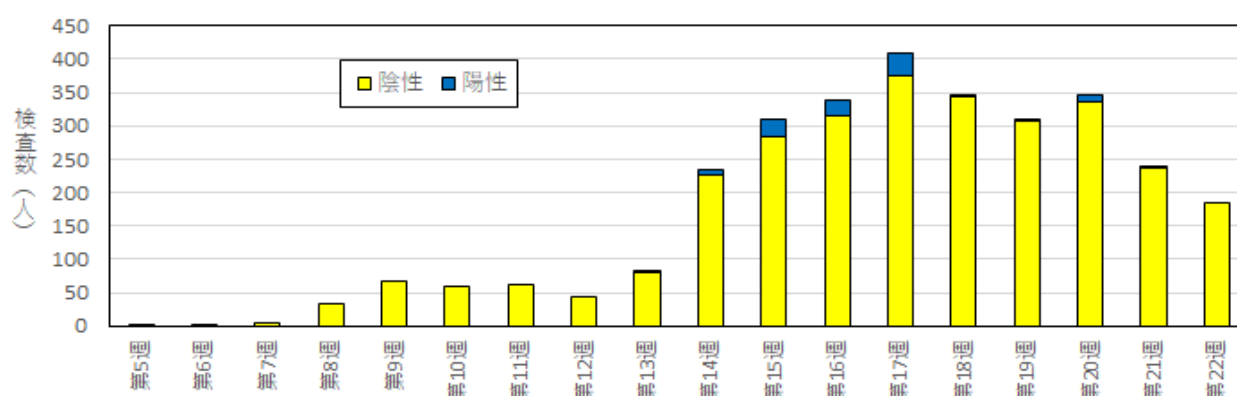
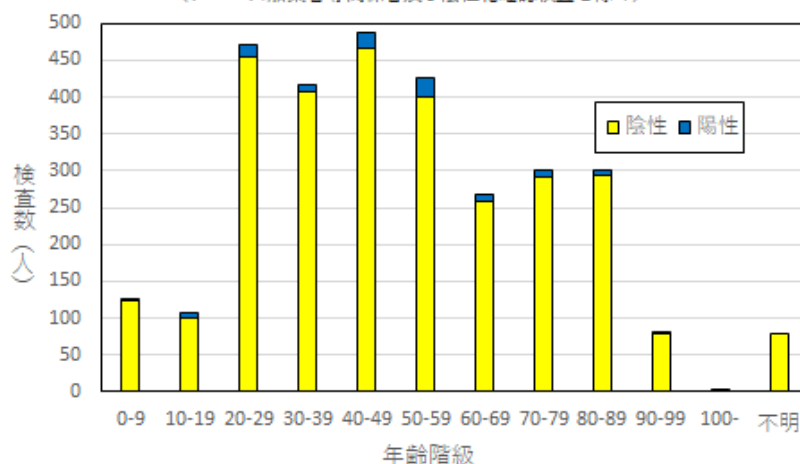


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例PCR検査状況

（年齢階級別 千葉市：5月31日現在 n=3064）

（クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く）



年齢階級	陽性	陰性	計	陽性率
0-9	2	123	125	1.6%
10-19	7	101	108	6.5%
20-29	16	454	470	3.4%
30-39	10	407	417	2.4%
40-49	23	465	488	4.7%
50-59	25	400	425	5.9%
60-69	10	256	266	3.7%
70-79	8	292	300	2.7%
80-89	6	294	300	2.0%
90-99	2	79	81	2.5%
100-	0	4	4	0.0%
不明	0	78	78	0.0%
計	109	2955	3064	3.6%

表2 年齢階級別の検査状況